

かたろん テーマトーク 2023年11月17日

自学自習を支援するeラーニングと教師の役割

熊野七絵

国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員主任

Nanae_Kumano@jpf.go.jp

自己紹介

2001年より国際交流基金（JF）関西国際センター（KC）日本語教育専門員。
海外の日本語教育支援の一環として、日本語研修、教材・eラーニング開発に従事。
JFの海外派遣経験は、米国、タイ、スペイン。

【専門分野】 コースデザイン、教材開発、eラーニング開発・ICT、評価・テスト開発等

【教材】

- ・『初級からの日本語スピーチ』
 - ・『日本語ドキドキ体験交流活動集』
- ほか



【eラーニング】

- ・ **サイト**「アニメ・マンガの日本語」
- ・ **コース**「みなと」上の「日本語オンラインコース」
例：「まるごとコース」「スピーチコース」
「いそどり日本語オンラインコース」
- ・ **アプリ**「HIRAGANA/KATAKANA/
KANJI Memory Hint」

KCの研修とeラーニング・教材開発

● 日本語研修

専門日本語研修（外交官 研究者）
日本語学習者訪日研修（大学生 高校生）



体験・交流

専門・個別

自律・継続

● eラーニング・教材開発

電子書籍
無料公開！



[国際交流基金 - 関西国際センター \(jpf.go.jp\)](http://jpf.go.jp)

国際交流基金JF 日本語学習eラーニングの概要

※【 】内は対応言語（一部のコンテンツのみ対応する言語も含む）

【プラットフォーム】「JFにほんごeラーニング みなと」



様々な日本語学習オンラインコースを提供するプラットフォーム。いつでもどこでもインターネットを通じて日本語を学べる機会を提供。学習者同士が交流できるコミュニティ機能も設置。JF海外拠点が独自にコースを制作、運用することも可能。みなとを活用して運用する各種オンラインコースは以下を中心に年間約280コースを開講。

【英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・日本語】

●まるごとオンラインコース



日本語と文化をまるごと学び、総合的な日本語力をつける「みなと」のメインコース。JFが開発したコースブック『まるごと 日本のことばと文化』のシラバスに沿い、オンラインで自学自習できる。初学者向け入門（A1）レベルから初中級（A2B1）レベルまで開講。日本語をゼロから学び始めて、レベルアップを図ることができる。【英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・フランス語・ポルトガル語・日本語】

●「ひらがな・カタカナ」コース

インタラクティブな教材で、ひらがなやカタカナの読み書きを一通り学ぶ自習コース

【英語・スペイン語】

●「アニメ・マンガの日本語」コース

「アニメ・マンガの日本語」サイトの素材を活用して、キャラクターやジャンル別の日本語表現などを学ぶコース

【英語・スペイン語・中国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語】

●「華道・書道・茶道」コース

動画とクイズで華道・書道・茶道の基本と生け方、書き方、いただき方を学び、実際に体験もできる自習コース

【英語】

●海外拠点によるコース

JF海外拠点が独自に開講する日本語オンラインコース

【ウェブサイト】

まるごとプラス（まるごと+）



『まるごと』で学ぶ人の自習をサポートするサイト。各種練習を行ったり、日本の生活や文化が学べるサイト 【英語・スペイン語・日本語】

アニメ・マンガの日本語



アニメ・マンガでよく使われるキャラクターやジャンルの日本語を楽しく学べるサイト 【英語・スペイン語・中国語・韓国語・フランス語・日本語】

【スマートフォン用アプリ】

HIRAGANA/KATAKANA Memory Hint



連想イラストで「ひらがな」「カタカナ」を楽しく覚え、クイズで確認できるアプリ 【英語・インドネシア語・タイ語】

ひろがる もっといろんな日本と日本語



学習者が自分の興味があるトピックから日本語と日本文化を学べるサイト 【英語・日本語】

「エリンが挑戦！にほんごできます。」コンテンツライブラリー



若い学習者を対象に制作された映像教材で日本語と日本文化を学べるサイト【英語・日本語ほか】

KANJI Memory Hint 1,2,3



漢字の形を連想させるイラストと2種類のゲームで楽しく漢字を学べるアプリ 【英語】

NIHONGO eな



日本語学習に役立つサイトやアプリをわかりやすく紹介するポータルサイト 【英語・日本語】

いろうど日本語オンラインコース



日本の生活場面で必要な日本語のコミュニケーション力を身につけることができるオンラインコース 【英語・日本語】

エリンと挑戦！にほんごテスト



カードゲームやマンガ、クイズを通して日本語の初級の語彙や表現を楽しく学び、どのくらい覚えたかを確認できるアプリ 【英語・インドネシア語】

今日の話

1. 環境、教育の変化と学習者の変化
2. eラーニング：自学自習を支援し動機づけを高めるための仕掛け
 - ・ eラーニングの紹介（オンラインコース・サイト・アプリ）
 - ・ 自学自習を支援するeラーニングの工夫
3. 教師の役割：自学自習を支援する視点と教師の役割
 - ・ 外国語学習者エンゲージメントの知見から
 - ・ 自学自習を組み込んだコースデザイン（学習デザイナー）
 - ・ ICTキュレーション（キュレーター）
 - ・ 自律学習支援（アドバイザー、コーチ）

1. 環境、教育の変化と学習者の変化

学習者を取り巻く環境の変化

● リソースの増加

- 日本語学習のためのeラーニング教材（サイト、アプリ、コース）
- 検索、翻訳、動画、SNS、VR、AI…
- 教室外のヒト、モノ、コト、社会

「グローバル化と情報への自由なアクセスによって、教室は目がくらむほど多様な背景と学力を備えた学習者で埋め尽くされるようになった。

（中略）学習者の注意を引き付け、有意義な学習にエンゲージさせることは、いま教える仕事に携わっている我々が直面している深遠なる課題である」（Barkley 2010:xi-xii）

マーサー、ドルニエイ著、鈴木、和田訳（2022）『外国語学習者エンゲージメント』 p.17

海外における自学習の増加と利用リソース

● 海外の機関で学んでいない学習者の存在

- 学習経験者は機関の10倍以上、5割独学経験 JF・電通調査(2016)
- 「みなと」の登録者40万人（202か国）A1が8割、6割は学習経験なし
機関調査とは異なる属性、地域分布 中尾・三宅（2022）

● 海外の学習者のICTリソース利用調査

- 日本語学習者のネット利用状況（海外11拠点調査） 伊藤他（2016）
- 海外の大学における日本語学習者のツール使用状況 鈴木他（2020）
電子辞書、アプリ、サイト、その他

※辞書系アプリや練習ツールが多く、学習者向けeラーニング名は少ない

教育の変化

● 21世紀型の新しい能力と言語教育

- ・ OECD：キー・コンピテンシー

相互作用的に道具を用いる、異質な集団で交流する、自律的に活動する

- ・ ATC21S:21世紀型スキル

思考の方法、働く方法、働くためのツール、世界の中で生きる

- ・ 日本：「生きる力」自立、協働、創造

アクティブ・ラーニング：主体的・対話的で深い学び

- ・ CEFR：行動中心アプローチ

「人、モノ、情報とつながり、社会活動に関与し、社会を変えていく目標達成のためにはまさに現在さかんに使われ、日進月歩で発達を続けるインターネット技術一般、ソーシャルメディアなどのテクノロジーが重要な役割を果たす。また、テクノロジーの使用により、21世紀を生きるために必要な能力の1つであるICTの能力も言語のクラスで養うことができ、21世紀が要求する言語使用者を作ることが可能になるのである。」 當作 (2019)p. 6

コロナ禍による教育の変化の加速

【学習】

集合

対面授業

宿題・予復習



【教材】

教科書、プリントetc

【教師】

コースデザイン、授業

教授・教育中心
「知識移動型」



【学習】

個人

自学自習

オンライン授業



【教材】

電子教材、PDF、動画etc

eラーニング（サイト、アプリ）

【教師】

電子教材作成、オンライン
授業、サポート

学習者中心・学習者主体
「知識構築型」

学習者の変化

● 教室内と教室外の言語使用

- 学校の語学授業とデジタル世界のプライベートな言語使用は別物

事例：「学校で習う英語」 < 「自由時間の英語」（より本物らしい）

『外国語学習者エンゲージメント』 p.29

● 学習、コミュニケーション志向

- 検索、翻訳 ⇒課題達成はICTスキルで「できる」 言語能力は？
- 動画、映像処理優先脳⇒Micro learning、受動的 粘り強さ 主体性 思考力は？
- SNS、Online自習室⇒つながり志向、フラット、即時性 態度、マナーは？

2. eラーニング教材

自学自習を支援し動機づけを高めるための仕掛け

オンラインコースの紹介



「JFにほんごeラーニング みなと」

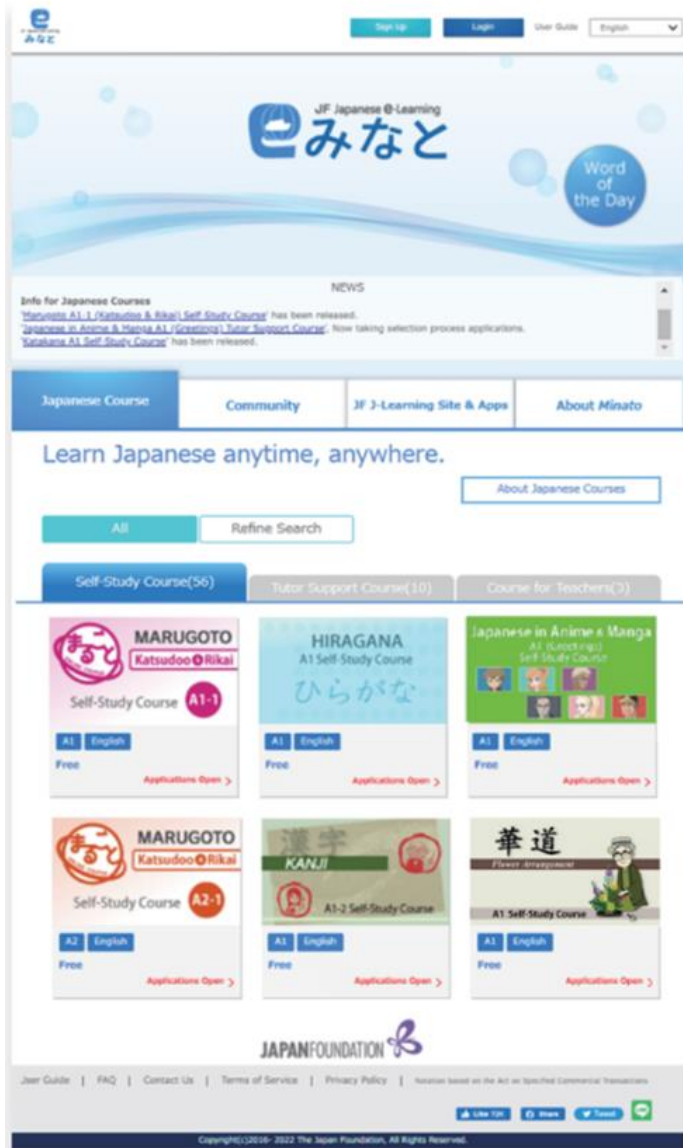
<https://minato-jf.jp/>

- 学習管理システム（LMS）を持つ日本語学習のためのプラットフォーム
- 世界中の誰でも利用できる

「みなと」でできること

- オンラインコースで日本語が学べる
- コミュニティで仲間と交流できる
- サイトやアプリにアクセスできる

【表示言語：日本語、英語、スペイン語、中国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語】



日本語コース



Japanese Course

Community

JF J-Learning Site & Apps

About Minato

コースタイプ

レベル

解説言語

学習カテゴリ

開講拠点

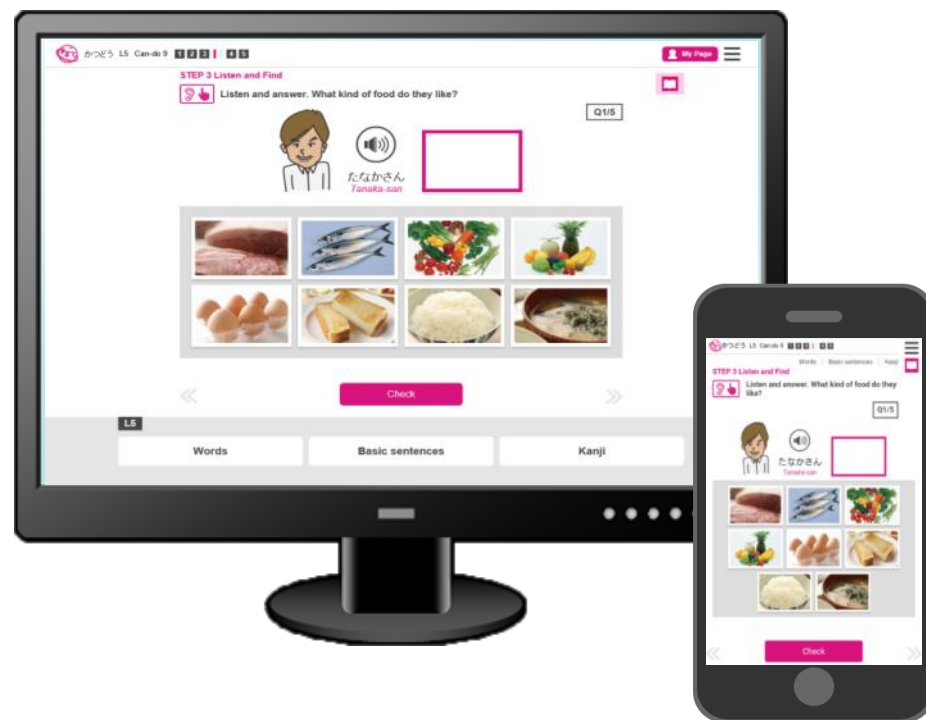
年間280コース

自習コース：自分のペースで自学自習

教師サポート付きコース：自学自習に課題添削、ライブレッスンなどの教師サポート付き

まるごとオンラインコース

<https://www.marugoto-online.jp/info/jp/>



日本語（聞く/話す/読む/書く）と**日本文化**を総合的に
学べるインタラクティブなコース

学習サポートコンテンツ、マイページで**自学自習**を支援

まるごとオンラインコース

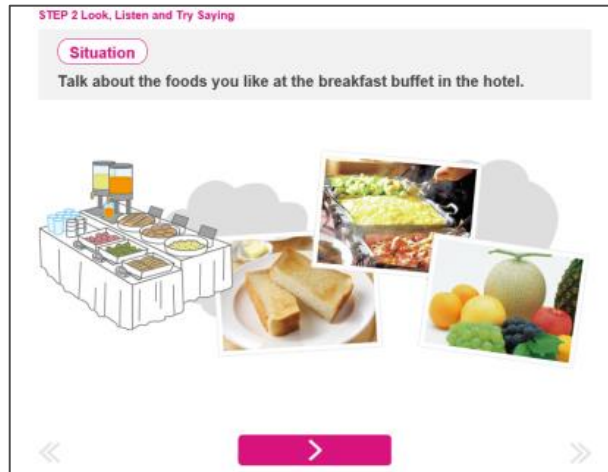
自習コースの種類

コースブック		自習コース	解説言語
入門(A1) 	1～10課	まるごとA1-1（かつどう）	英語 スペイン語 インドネシア語 タイ語 中国語 ベトナム語 フランス語 ポルトガル語
		まるごとA1-1（かつどう・りかい）	
	11～18課	まるごとA1-2（かつどう）	
		まるごとA1-2（かつどう・りかい）	
初級1(A2) 	1～10課	まるごとA2-1（かつどう・りかい）	英語 スペイン語 インドネシア語
	11～18課	まるごとA2-2（かつどう・りかい）	
初級2(A2) 	1～10課	まるごとA2-3（かつどう・りかい）	英語 スペイン語
	11～18課	まるごとA2-4（かつどう・りかい）	
初中級 (A2/B1) 	1～10課	まるごとA2B1-1	英語
	11～18課	まるごとA2B1-2	

まるごとオンラインコース

学習の流れ「かつどう」

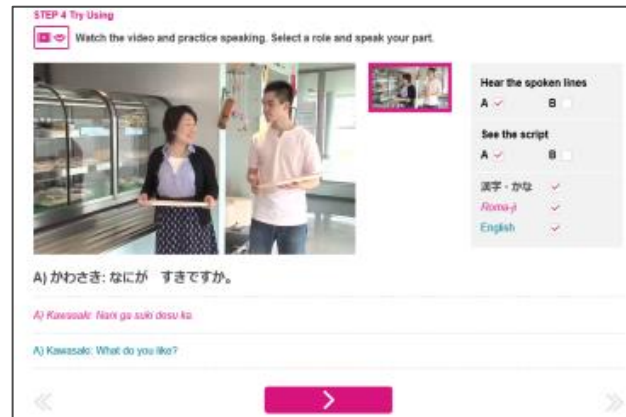
Can-do目標・場面の提示



導入、聞く・気づく、練習で確認 (文→会話)



話す練習 (パート → 自分)



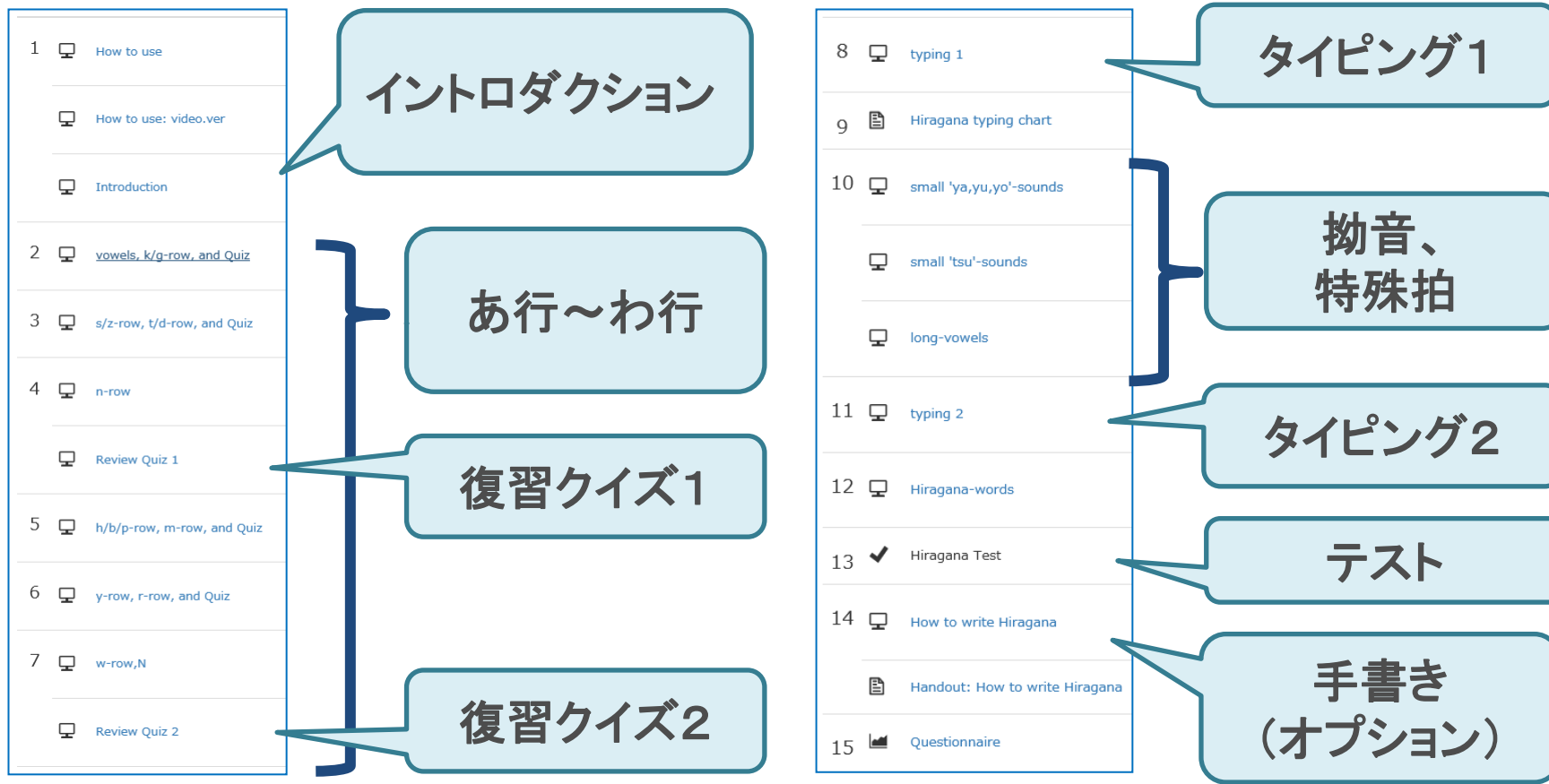
ひらがな・カタカナコース



- ひらがな、カタカナの読み書きを一通り学べる
 - 負担なく文字を学べる（1回15分程度）
- 【解説言語：英語、スペイン語】

ひらがな・カタカナコース

コースの構成



ひらがな・カタカナコース

学習の流れ

字形と音

Look at the letters and listen to how they sound.



na ni nu ne no

n-row

な	に	ぬ	ね	の
---	---	---	---	---

back next

連想法で字形と音を覚える

STEP 1 memorize

Preview "memory hints" and sounds.

nuts knee noodle with chopsticks net "NO" sign



back next

確認

STEP 2 memory check

Match the letters.

na ni nu ne no

ね	な	に	の	ぬ
---	---	---	---	---

back skip

単語単位

STEP 3 words Listen and read.



にわ
garden



のり
nori(seaweed)



はな
flower

back next

確認クイズ

STEP 4 Try!

Listen to make words.

1/3



hint

は

に の ぬ な ね

clear check

back skip



Well done!
You've learned half of the single syllables.

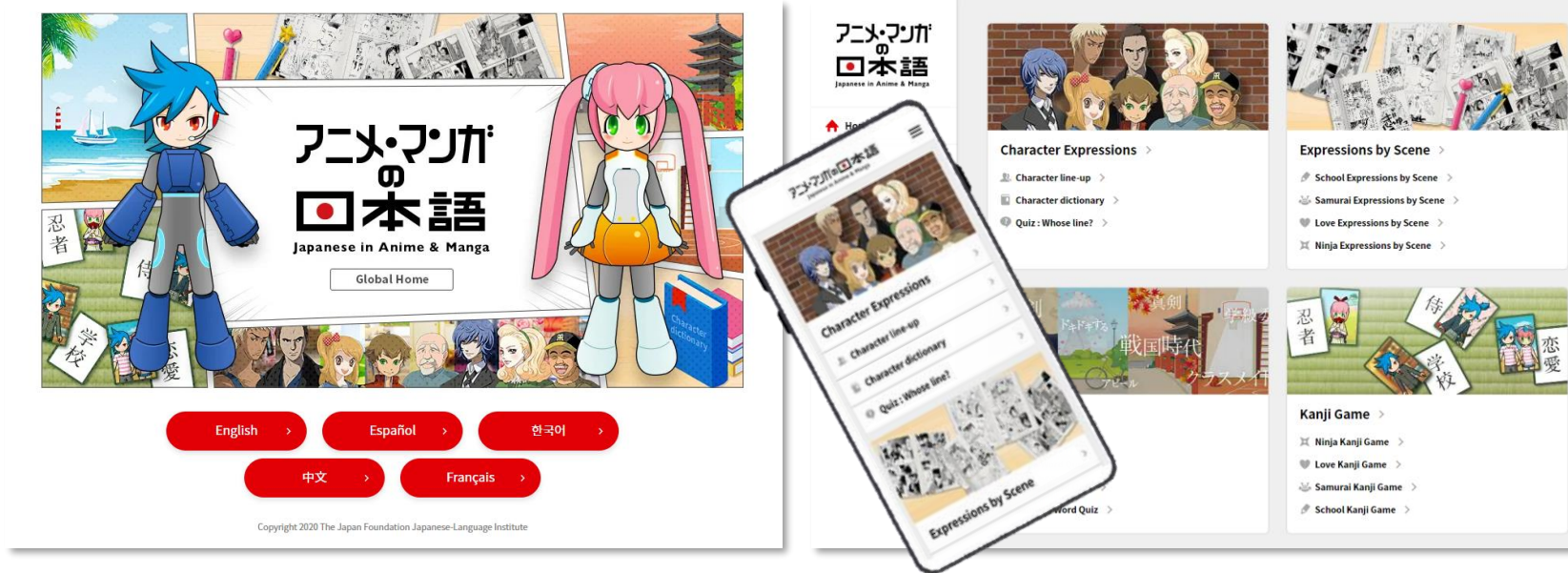
Close the tab and return to your "My Page".

サイトの紹介



アニメ・マンガの日本語

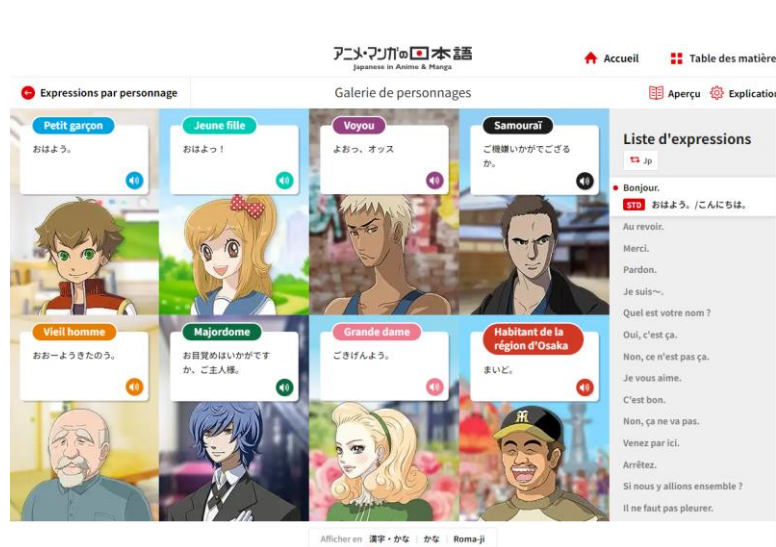
<https://anime-manga.jp/>



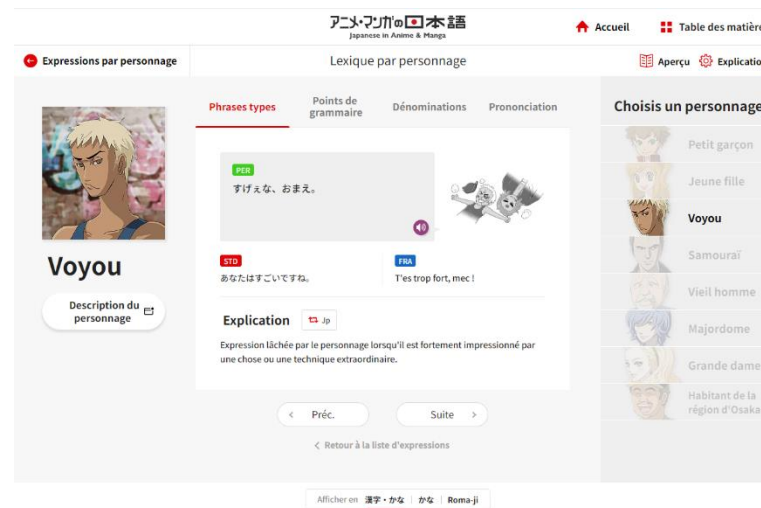
- ポップカルチャーからの日本語学習の動機づけ
- アニメ・マンガに現れるキャラクターやジャンルの日本語表現をアニメ・マンガの世界の中で楽しく学べる

【解説言語：英語、スペイン語、中国語、韓国語、フランス語】

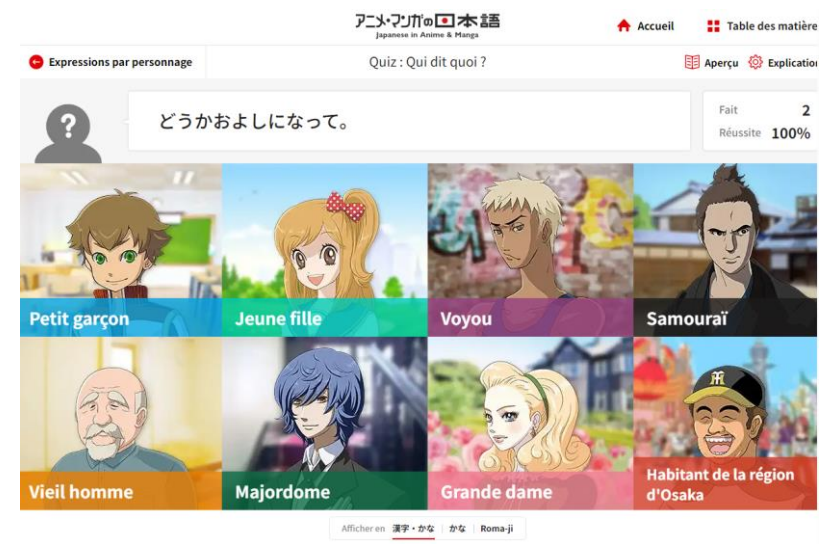
アニメ・マンガの日本語 コンテンツ構成 (キャラクター表現)



キャラクター一斉変換



キャラクター別表現 (野郎)
一言フレーズ
文型・表現
呼称
発音変化



クイズ：誰のセリフ

ひろがる もっといろいろな日本と日本語

<https://hirogaru-nihongo.jp/>



- 自分の楽しみを通して、いろいろな日本や日本語について学べる
- 12のトピックに関する記事を読んだり語りを聞いたりできる
- JFSのA1,A2レベルの日本語でわかる使える

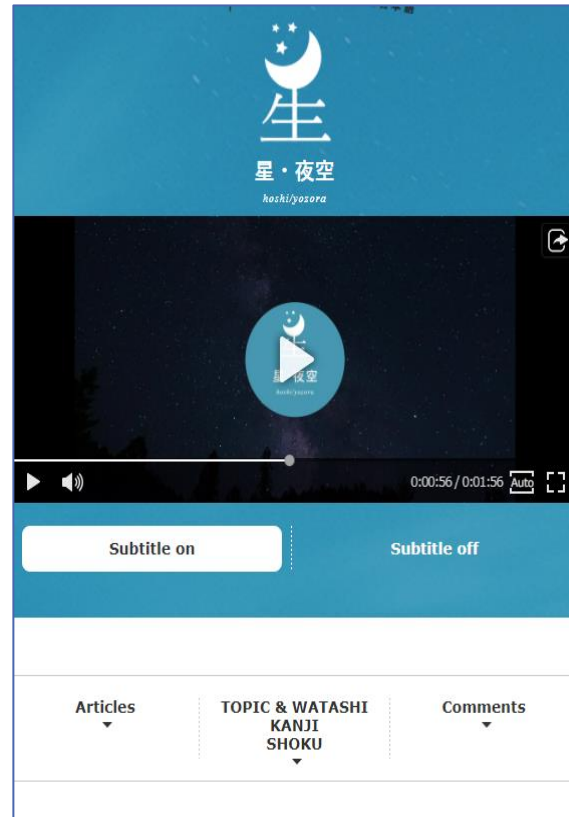
【解説言語：英】

ひろがる コンテンツ構成

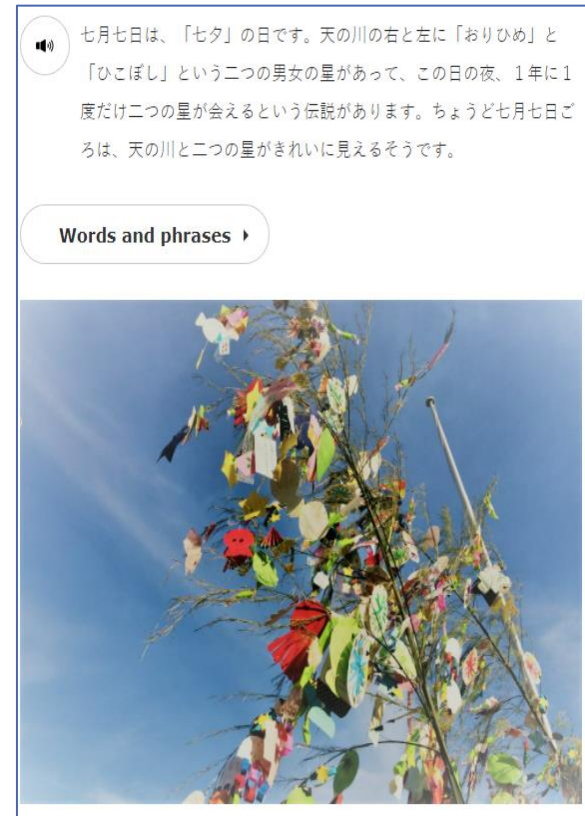
トップページ トピック一覧



トピック「星」 トップ動画、記事 トピックと人、漢字、コメント



記事 「七夕」



アプリの紹介

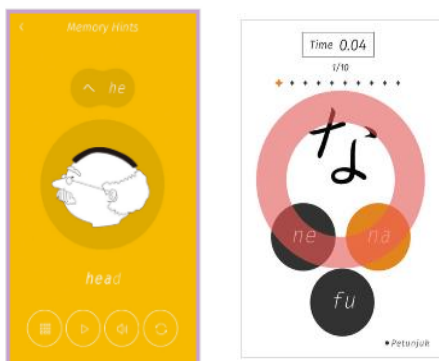


HIRAGANA/KATAKANA Memory Hint

<https://minato-jf.jp/Home/JapaneseApplication>



- モバイル端末用かな学習アプリ (スマホ・タブレット)
- インターネット環境がなくても使用可
- 連想イラストとクイズで楽しくかなが学べる

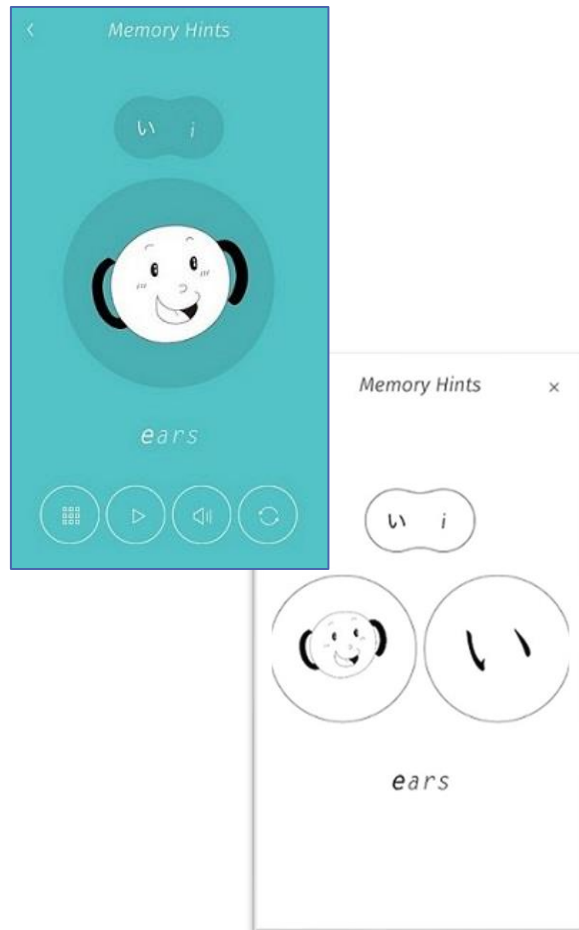


【解説言語：英語、インドネシア語、タイ語】

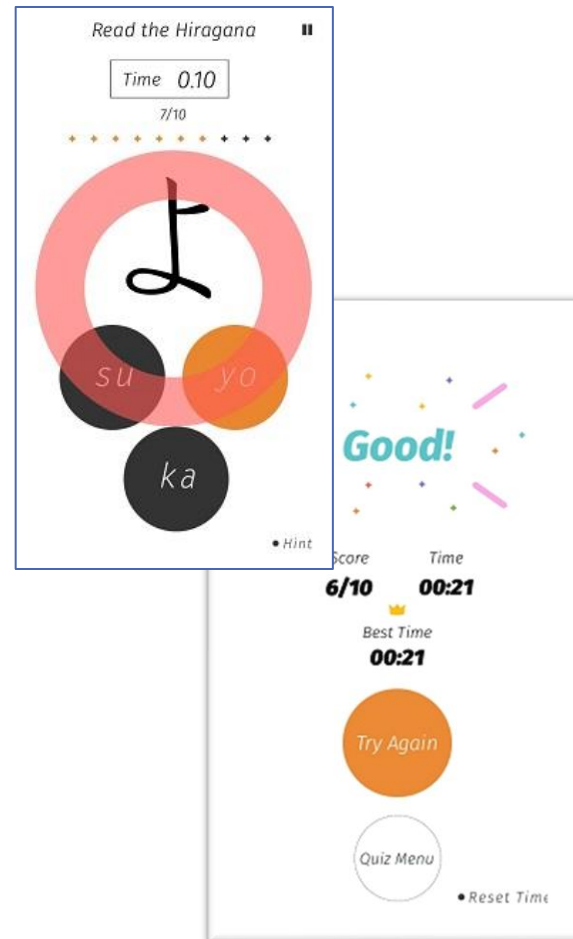
HIRAGANA Memory Hint

コンテンツ構成

Memory Hint



Quiz



Hiragana Table

The screenshot shows the 'Hiragana Table' interface. It features a grid of hiragana characters. The top row shows the vowels 'a', 'i', 'u', 'e', 'o' in colored circles. The rest of the grid contains the hiragana characters for each vowel. A legend at the top indicates 'V = Vowels' and 'C = Consonants'.

	a	i	u	e	o
	あ	い	う	え	お
k	か	き	く	け	こ
s	さ	し	す	せ	そ
t	た	ち	つ	て	と
n	な	に	ぬ	ね	の
h	は	ひ	ふ	へ	ほ
m	ま	み	む	め	も
y	や		ゆ		よ
r	ら	り	る	れ	ろ
w	わ				を
N	ん				

KANJI Memory Hint 1,2 & 3

<https://minato-jf.jp/Home/JapaneseApplication>



- モバイル端末用漢字学習アプリ (スマホ・タブレット)
- 連想イラストとゲームで 楽しく漢字が学べる

※KANJI 1「まるごと+」入門(A1)の漢字

KANJI 2「まるごと+」初級1(A2)の漢字

KANJI 3「まるごと+」初級2(A2)の漢字



【解説言語：英語】

KANJI Memory Hint コンテンツ構成

Memory Hint



Game



Kanji Table

The Kanji Table interface shows a grid of kanji cards. The cards are arranged in a 10x10 grid. The first row contains: 魚 (fish), 肉 (meat), 卵 (egg), 水 (water), 食 (eat), 飲 (drink). The second row contains: 大 (big), 小 (small), 新 (new), 古 (old). The third row contains: 時 (time), 分 (minute), 半 (half), 月 (month), 火 (fire), 水 (water), 木 (wood). The fourth row contains: 金 (gold), 土 (earth), 日 (sun). The fifth row contains: 春 (spring), 夏 (summer), 秋 (autumn), 冬 (winter), 一 (one). The sixth row contains: 二 (two), 三 (three), 四 (four), 五 (five), 六 (six), 七 (seven), 八 (eight). The seventh row contains: 九 (nine), 十 (ten), 年 (year), 月 (month), 日 (day). The eighth row contains: 東 (east), 西 (west), 南 (south), 北 (north), 口 (mouth). The ninth row contains: 圓 (yen), 金 (gold), 一 (one), 百 (hundred), 千 (thousand), 万 (ten thousand), 円 (yen). The tenth row contains: 行 (go), 来 (come), 会 (meet), 休 (rest), 日 (day), 本 (book), 京 (capital).

自学自習を支援するeラーニングの仕掛け

- 自学自習を支援する「学習の流れ」になっているか
 - ・指導方略 導入⇒練習⇒まとめ
 - ・言語習得過程 インプット⇒気づき⇒アウトプット
- 自学自習を続けられるよう、「動機づけ、魅力」を高めているか
 - ・ARCSモデル 注意、関連性、自信、満足感
 - ・ゲーム理論、ゲーミフィケーション 没入感、選択性、競争、挑戦、ご褒美
- 自学自習を続けられる「学習体験」になっているか
 - ・遠隔教育、MOOC、学習分析学⇒画面上の提示（UI）、体感（UX）

教育工学（ID）や言語習得、遠隔教育や学習分析学の知見を活かす

3. 教師の役割

自学自習を支援する視点と教師の役割

自学自習を支援するために教師にできることは？

①言語学習とエンゲージメントの視点

自学自習をコースデザインにどのように組み込めばいいの？

②自学自習を取り入れたコースデザイン（学習デザイナー）

日本語学習のeラーニングを紹介すれば、自学自習できるの？

③ICTキュレーション（キュレーター）

自律的じゃない学習者の自学自習をどうやって支援すればいいの？

④自律学習支援（アドバイザー、コーチ）

3. 教師の役割

①言語学習とエンゲージメントの視点

自学自習を支援するために教師にできることは？

言語学習とエンゲージメントの視点

● 『外国語学習者エンゲージメントー主体的学びを引き出す英語授業』

- ・ 学習者に積極的参加と没頭を促す教室指導のあり方を考える
- ・ 教師を**学習体験のデザイナー**として認識し、
そのデザイン過程の**中心に学習者と彼らの学習を置く**重要性を強調
- ・ **ポジティブな感情がもつ力、教育のパートナーとして**
学習者に権限を委譲すること、学習活動への積極的参加を強調。
- ・ 各章で教師に「原則」と「行動」のポイントを示している。
「学習者エンゲージメントを取り巻くもの」
「**学習者の促進的マインドセット**」
「教師と学習者のラポール」
「ポジティブな教室力学と教室文化」
「タスク・エンゲージメントの喚起」
「タスク・エンゲージメントの維持」



マーサー、ドルニエイ(2022)

⇒自学習を支援する教師のための視点やヒント

学習者の促進的マインドセットのための原則

原則 1 : 有能感を高める

成功体験、フィードバックと足場架け、ロールモデルと代理学習、感情調整

※「立場の近いロールモデル」

原則 2 : 成長マインドセットを育む

言葉を正しく使う、間違いを歓迎する、努力の的を絞る、適切なフィードバックを与える、自分の言語学習を観察させる、挑戦する文化を作る、学習のプロセスにフォーカスする

原則 3 : 学習者の当事者意識と自己統制感を高める

学習者が学習をコントロールしている

原則 4 : 積極性を育てる

意思とスキルの要素を自己調整学習を通じて伸ばす

原則 5 : 粘り強さを育てる

長期目標に向かって進み続ける際の熱意、忍耐、回復力

セルフコントロール能力が重要、前向きな行動パターンと行動習慣の発達

教師の行動

行動 1 : コーチのように考え、行動する

コーチング「人が目標に向かって進んでいくのを支援する力強いプロセス」

GROWモデル（目標Goal,現状Reality,選択肢Options,何をするWill）話し合いや対話

行動 2 : 学習の進歩を可視化する

Can-doリストによる進歩の可視化、イグジット・チケット（質問に回答）、ポートフォリオ

行動 3 : 信念について明示的に話し合う

脳の可塑性について教える、成長マインドセットのロールモデルを使って議論する

行動 4 : 選択や意見を取り入れる

行為の主体観、学習「方法」の選択権を与える、「ジーニアスアワー」20%

行動 5 : 学び方を教える

リフレクティブな対話、学習記録、言語学習ストラテジー

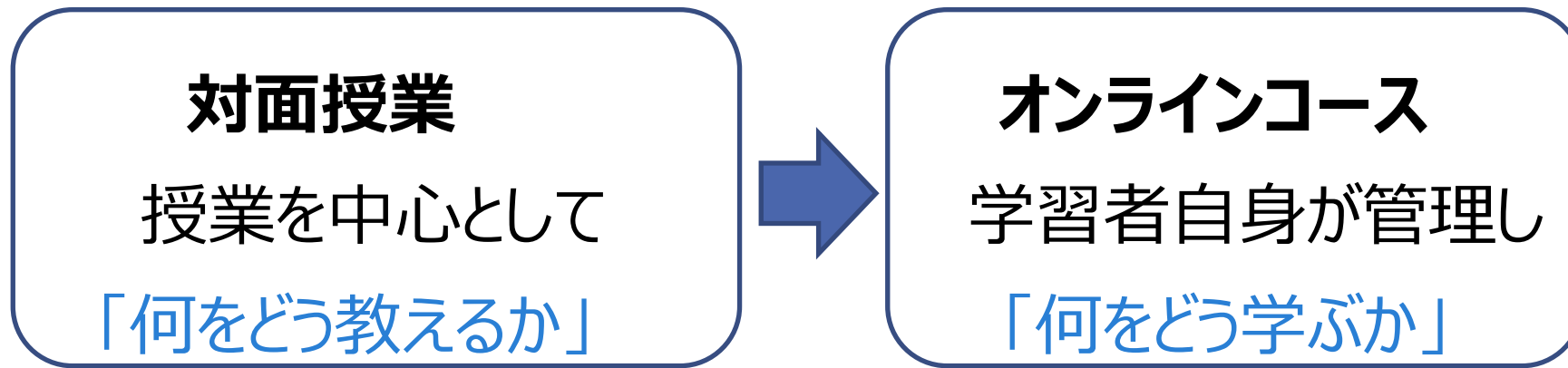
3. 教師の役割

② 自学習を組み込んだコースデザイン (学習デザイナー)

自学自習をコースデザインにどのように組み込めばいいの？

自学自習を踏まえた学習デザインのし直し

「みなと」の日本語コースは「**自学自習**」前提



⇒学習活動の流れと学習要素、評価をデザインし直す

「みなと」のコースデザインの流れ

- ①**分析** 学習者のニーズ・レディネス・学習特性の分析
- ②**設計** Can-do目標、学習ステップ、学習要素、評価の全体設計
- ③**開発** 学習要素（教材、動画、ライブレッスン、課題、テスト）の制作、
スケジュール設定、連絡や交流の場づくりの具体化
- ④**実施** 学習進捗確認、連絡やサポート、ライブレッスン、フィードバックや評価
- ⑤**評価** 教材、運用の振り返り（学習者の反応、学習履歴、アンケート等）

⇒IDの教育システム設計の基本プロセス「ADDIEモデル」
サイクルで、学習の「効果」「効率」「魅力」を向上

Can-do目標の設定

- 「**Can-do目標**」（＝日本語で何がどのくらいできるかを「～できる」で記述した行動目標）の設定

「JF日本語教育スタンダード」に基づき、A1,A2などコースの対象レベルに合った具体的なCan-do目標を設定

⇒IDにおいても、学習者自身が学習管理するために、行動目標の設定が効果的とされている。

自学自習（非同期）とライブレッスン（同期） 向きの活動

自学自習向きの活動

- ・オリエンテーション
- ・導入、説明
- ・基本練習
- ・「聞く・話す・読む・書く」活動
- ・内容理解や達成確認のクイズ
- ・課題（作文等）、発表準備
- ・学習の振り返り、自己評価
- ・テスト

ライブレッスン向きの活動

- ・質問
- ・個別化
- ・会話、ディスカッション、発表とQ&A
- ・グループワーク、共同作業
- ・体験交流活動
- ・オーラルテスト

**フィードバック
やりとり・交流**

熊野（2021） p.97

⇒自学自習で実現が難しい「フィードバック」や「やりとり・交流」をライブレッスンでやるべきこととしてデザインし直す

評価方法と修了要件の設定

- 「**Can-do目標**」の達成を評価する評価方法になっているか。
いつ：どの「学習ステップ」で
何で：教材や動画、クイズやテスト、課題、ライブレッスンへの参加や発表など、どの「学習要素」で
誰が：自己評価か、教師か、ピア評価か
どのように： Can-doチェック、ループ リック、クイズやテストの点数、課題や発表のパフォーマンス評価とコメントなど
- 「自学自習」の学習プロセスも評価するため、各ステップ内にも達成確認、評価のプロセスを組み込み、**形成的評価**の比重を高くし、**修了要件**として明示する。

⇒IDにおいても、入口（目標）と出口（評価）の明示、
形成的評価や自己評価が効果的だとされている。

実施における教師の役割

- 全体像の可視化

コース全体像をコース概要やオリエンテーションで明示
学習の内容、順番をタイトルやスケジュール設定で

- 自学自習サポート

全体、個別の連絡方法とタイミングで自学自習を支援

- フィードバック

課題の添削や発表の評価コメントなど学習過程や成果への
フィードバック、足場架け

- つながる場づくり

グループ掲示板など交流、コミュニケーションの場に

3. 教師の役割

③ICTキュレーション (キュレーター)

日本語学習のeラーニングを紹介すれば、自学自習できるの？

ICTキュレーションとは

● ICTリテラシーの分類

静的スキル：パソコンやタブレット型端末、デジタル機器、Office系ソフト、Webブラウザなどの使い方そのものに関するスキル。ICT機器操作スキル

動的スキル：Webサービスやアプリについて調べたり、ICTを使って何をするかを自律的に考えられるスキル

● ICTキュレーション

現存するWebサービス、コンテンツ、スマホアプリなどのデジタルリソースを学習状況や学習者のニーズ・レベルを考慮した上で見つけ出し、適切な形で組み合わせて授業に組み込むこと

eラーニング教材の活用における コースデザインの視点

- 各学習者の学習ニーズを確認
- 通信環境やデバイスなどの環境を確認
- 自学自習（非同期）か教師や仲間が存在する（同期）か
- eラーニング教材の提供形式とその特徴を考慮
- 教材の組み合わせ、提示方法や順序
- 学習成果へのフィードバックや評価の方法を考える

eラーニング教材の提供方法の違い

	オンラインコース	サイト	アプリ
学習内容	目標、導入、練習、 評価の一連の学習	場面動画、文法、 語彙、漢字など	文字、語彙などに特 化した内容
構成	コース、マイページ 総合的、連続性	内容別コンテンツ 選択式	辞書、クイズ・ゲーム 簡易
通信環境	インターネット要 PC、スマホ	インターネット要 PC、スマホ	オフライン可 スマホ
自学自習 授業利用 活用	自学自習用 授業利用も可 反転、授業内、復習 教材と併用	自習・授業利用 授業内、復習 選択・URL指定	自学自習用 授業利用も可 復習 個別・内容特化

ポータルサイトの活用

さまざまなeラーニング教材から、レベルや学習ニーズに合ったものを探索するためにはポータルサイトを活用

- JF 「みなと」 年間280のオンラインコースを開講
- JF 「Nihongo eな」 約300のサイトやアプリを紹介、更新

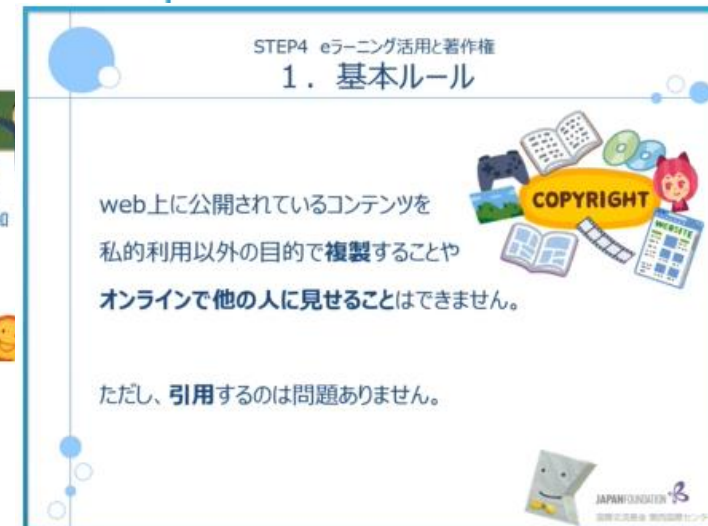


<https://nihongo-e-na.com/>



- 【解説言語：英語、日本語】

【教師向け】eラーニング活用ガイド



- KCのeラーニングを例に、eラーニングをどう授業と組み合わせて活用するかが学べる
- eラーニングを授業に活用するにあたり著作権などに対する配慮について学べる

【解説言語：日本語】

3. 教師の役割

④自律学習支援 (アドバイザー、コーチ)

自律的じゃない学習者の自学自習をどうやって支援すればいいの？

KCの自律学習支援事例：大学生訪日研修（6週間）

- 自律学習の意識づけの「場づくり」と「仕掛け」（熊野ほか2009、石井・熊野2010）

『日本語ドキドキ体験交流活動集』2. コースデザイン

場づくり：目標設定⇒振り返り・共有⇒達成確認

＜コースを始める＞ 学習相談、自己目標を書く

＜コース中＞ 学習体験記録、週1 振り返りと共有、教師FB

日本語未来図、学習計画を立てる

eラーニング紹介、学習方法共有

＜コースを終わる＞ 自己評価をする、学習相談

仕掛け：ポートフォリオ

目標、体験の記録、成果物、学習計画、評価



国際交流基金関西国際センター
(2008、2020 電子書籍無料公開)

KCの自律学習支援事例：文化学術専門家（2か月）

● 専門日本語のための自律学習支援

- ・口頭発表
- ・論文を書く
- ・情報検索、整理
- ・専門読解

自律学習/個別授業



例：専門分野の語彙リスト⇒自分で作成し、練習できる方法をアドバイス

[NIHONGO eな - Portal for Learning Japanese \(nihongo-e-na.com\)](http://nihongo-e-na.com)

『リフレクティブ・ダイアログ 学習者オートノミーを育む言語学習アドバイジング』

● 学習者の軌跡

開始ー舞台を整える

深化ーターニングポイントへの移行

意識化ーアドバイジングにおけるアハ体験

変容ー セルフアドバイジングができるようになる

振り返りの深さ

● 意識改革アドバイジングにおける4つのアプローチ

行動の促進、視野の拡大、意識の行動への結び付け、変容の支援

● アドバイジングストラテジー、ツール

“アドバイス”をしない、「言語学習の輪」「週間スケジュール」など



加藤、マイナード(2022)

「自主学習のモチベーションを高めるコツ」

- 学習活動をもっと楽しく たいくつな活動を楽しみましょう、興味のある学習教材を選ぼう
- 学びを社会的に 友達と一緒に勉強しよう、新しい友達を作ろう
- 未来を可視化する 未来のあなた自身を想像しよう
- 目標を決める 目的を絞ろう（大きな目標、やることリスト）
- 自律性を高める 自分の学習に責任を持とう
- 自分にご褒美をあげる 続けられるように自分にご褒美をあげよう
- ポジティブに捉える 快適な学習環境を作ろう、ポジティブノートを書こう



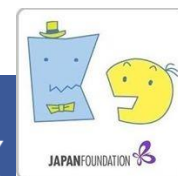
pp.70-71



最新情報は…
公式サイト・公式SNSで！

KC : <https://www.jpf.go.jp/j/kansai/index.html>

facebook



@JFKansai

参考書籍

- 加藤聡子、ジョー・マイナード（著）、義永美央子、加藤聡子（監訳）（2022）『リフレクティブ・ダイアログ 学習者オートノミーを育む言語学習アドバイジング』、大阪大学出版会
- R.M.ガニエ・W.W.ウェイジャー・K.C.ゴラス・J.M.ケラー（著）、鈴木克明・岩崎信（監訳）（2007）『インストラクショナルデザインの原理』北大路書房
- J.M.ケラー（著）、鈴木克明（監訳）（2010）『学習意欲をデザインする：ARCSモデルによるインストラクショナルデザイン』北大路書房
- 国際交流基金編、島田徳子、柴原智代著（2008）『国際交流基金日本語教授法シリーズ第14巻「教材開発」』ひつじ書房
- 国際交流基金関西国際センター編、熊野七絵、品川直美、田中哲哉、中島透、西野藍、羽太園、矢澤理子著（2008、2020電子書籍無料公開）『[日本語ドキドキ体験交流活動集](#)』、国際交流基金関西国際センター
- サラ・マーサー、ゾルタン・ドルニエイ（著）、鈴木章能、和田玲（訳）（2022）『外国語学習者エンゲージメントー主体的学びを引き出す英語授業』、アルク
- 鈴木克明（2002）『教材設計マニュアル：独学を支援するために』、北大路書房
- 當作靖彦（監修）李在鎬（編者）（2019）『ICT×日本語教育-情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』、ひつじ書房
- 松田岳士、原田満里子（2007）『eラーニングのためのメンタリング』、東京電機大学出版局出版局
- 山田智久、伊藤秀明編（2021）『オンライン授業を考える 日本語教師のためのICTリテラシー』、くろしお出版
- 横溝紳一郎、山田智久（2019）『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』、くろしお出版
- ライゲルース, C. M.、ビーティ, B. J.、マイヤーズ, R. D.（2020）『学習者中心の教育を実現するインストラクショナルデザイン理論とモデル』（鈴木克明監訳）、北大路書房

引用論文等

- 石井容子、熊野七絵（2010）「ポートフォリオで自律学習を促すー海外で日本語を学ぶ大学生の自律学習支援ー」、『JF日本語教育スタンダード事例集』、国際交流基金
- 伊藤秀明、石井容子、武田素子、山下悠貴乃（2016）「日本語学習者のネット利用状況と学習サイトへの期待ー海外 11 拠点の調査結果からー」『国際交流基金日本語教育紀要』第 12 号 pp.97-104
- 鈴木智美、清水由貴子、中村彰、渋谷博子（2020）「海外の大学における日本語学習者のツール使用状況の解明ーICT時代における教師の教育設計リテラシーの向上を目指してー」『日本語・日本学研究』10号、東京外国語大学国際日本研究センター、pp.23-48
- 熊野七絵、品川直美、羽太園、田中哲哉、矢澤理子、西野藍(2009)「短期訪日コースのための教材開発-『日本語ドキドキ体験交流活動集』-」『国際交流基金日本語教育紀要』第5号 pp.135-149 国際交流基金
- 熊野七絵（2020）「学習ニーズや環境とデジタルリソースの提供形式を考慮したキュレーション」発表3、山田智久・北村祐人・伊藤秀明・熊野七絵「デジタルリソースのキュレーションを考える～事例と視点の共有を目指して～」パネル発表、『2020年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.56-65
- 熊野七絵（2021）「『みなと』の日本語コースのコースデザインと教材の工夫」、山田智久・伊藤秀明編『オンライン授業を考える 日本語教師のためのICTリテラシー』、pp.93-113、くろしお出版
- 国際交流基金、電通（2016）「[台湾・香港・韓国日本語学習者調査](#)」
- 當作靖彦（2019）「ネットワーク時代の言語教育・言語学習」『ICT×日本語教育-情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』、ひつじ書房、pp.2-21
- 中尾有岐、三宅直子(2022)「オンラインで学ぶ日本語学習者の特性を探るーJFにほんごeラーニングみなと登録者を対象に」『2022年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp.191-196

KCのeラーニング開発、活用関連の論文・発表 1 <発表年順>

- 安達祥子・笠井陽介・熊野七絵（2023）「いそどろ日本語オンラインコース」開発と運用、『国際交流基金日本語教育紀要』第19号、 pp.15-130
- 東健太郎・三宅直子・魏娜・北口信幸・宮島知（2020）「JF にほんご e ラーニング みなと」自習コースの運用状況と結果－受講者数・修了率・満足度を中心に－、『国際交流基金日本語教育紀要』第19号、 pp.123-136
- 熊野七絵、伊藤秀明、北村裕人、山田智久（2019）「公的機関（JF、大学、文化庁）のeラーニング教材を日本語教育現場で活用するためには何が必要か」、パネル発表、発表 1 「JFのeラーニングと日本語教育現場での活用事例」、CASTEL/J2019予稿集
- 武田素子・熊野七絵・千葉朋美・檜山治樹（2019）「まるごと日本語オンラインコースの開発と運用－自学自習を継続させるための工夫とは－」『ICT×日本語教育情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』 pp.236-252、ひつじ書房
- 伊藤秀明・石井容子・前田純子（2019）「継続的な学習につなげる日本語学習サイト『ひろがるもっといろいろな日本と日本語』」『ICT×日本語教育情報通信技術を利用した日本語教育の理論と実践』 pp.222-234、ひつじ書房
- 熊野七絵、和栗夏海(2018)「JF にほんごeラーニングみなと」の自習コースの教育現場での活用を考える－まるごと、ひらがな、アニメ・マンガの日本語、俳句コースを例に－」交流ひろば、2018年度日本語教育学会秋季大会
- 伊藤秀明・熊野七絵・蟻末淳・山田智久・今井新悟（2018）「ICT/AIと日本語教育－これから考えていかなければならないこと－」パネル発表、発表者 2 「ICTを利用したeラーニング開発と学習者ニーズ」、2018年日本語教育国際研究大会予稿集

KCのeラーニング開発、活用関連の論文・発表 2 <発表年順>

- 千葉朋美・熊野七絵（2018）「『JFにほんごeラーニング みなと』における日本語オンラインコースの開発と運用—eラーニングでの自学自習を継続するために—」、2017年ヨーロッパ日本語教育シンポジウム“Learning and teaching Japanese in Europe. Why? - Voices from the field -”、『ヨーロッパ日本語教育22 2017ヨーロッパ日本語教育シンポジウム報告・発表論文集』 pp.372-377
- 千葉朋美・武田素子・廣利正代・笠井陽介(2018)「まるごと（A1）教師サポート付きコース」の運用と成果—オンラインコースにおける学習者支援— 『国際交流基金日本語教育紀要』第14号、 pp.51-66
- 武田素子・北口信幸・大西薫（2017）「動機付けを目的とした「アニメ・マンガの日本語」オンラインコースの制作と運用」, 『2017年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp.417-422.
- 熊野七絵、前田純子（2017）「連想イラストとクイズやゲームで楽しく文字を学べるスマートフォン用アプリ『HIRAGANA/KATAKANA/KANJI Memory Hint』の開発」 『CASTEL/J2017予稿集』 pp.66-71
- 武田素子・熊野七絵・千葉朋美・笠井陽介・石井容子・前田純子・北口信幸（2017）「まるごと（A1）日本語オンラインコースサイトの開発」、 『国際交流基金日本語教育紀要』第13号 pp.133-140
- 信岡麻理・和栗夏海・伊藤秀明・山下悠貴乃・川嶋恵子・三浦多佳史（2017）「『JFにほんごeラーニング みなと』の構成と今後の展望」、 『国際交流基金日本語教育紀要』第13号、 pp.125-132
- 熊野七絵、川嶋恵子（2011）「『アニメ・マンガの日本語』 Webサイト開発—趣味から日本語学習へ」 『国際交流基金日本語教育紀要』第7号 pp.103-117
- 田中哲哉、浜田盛男、前田順子、角南北斗（2011）「インターネットを利用した日本語学習支援を広げるために—日本語学習ポータル「NIHONGO eな」の開発—」 『国際交流基金日本語教育紀要』第7号 pp.163-169